

「環境カオリスタ賞」講評

宇田川 僚一（社団法人日本アロマ環境協会 理事長）

今回、水尾自治会は見事に当協会の推進している環境カオリスタ賞を受賞されました。おめでとうございます。

京の水尾は、清和天皇も愛した柚子の里です。「桃栗三年、柿八年、柚子の大ばか十八年」といわれるほど、育成には手が掛かる果樹だと聞いています。受賞された水尾自治会の皆さんの取り組みは、少子高齢化が課題の地を柚子をもとに今一度活性化させようという、誠に熟年パワーを感じさせる、また来たるべく長寿化社会のお手本ともなる、とても素晴らしい取り組みです。青柚子の若い香り、完熟柚子の甘い香り、柚子とともに過ごす水尾の1年は、カオリスタによる投票でも最多票を獲得し、環境カオリスタのイメージにもぴったりで、文句なしの受賞となりました。これを機にますますのご発展を祈念するところです。

環境カオリスタ検定は、「植物と環境に優しい私になる」をコンセプトに、植物の香りを感じることで環境を守っていかうとする人材を輩出する検定です。多くの方々に受検いただき、カオリスタの一員になっていただくことをお願いし、簡単ですが、講評とさせていただきます。本日はおめでとうございます。